

4-1

演題	10周年への「想い」
副題	～レジデンシャル常盤台の Only One～

広報誌
10年史

法人名	社会福祉法人 育明会
施設名	レジデンシャル常盤台

発表者名 (職種)	小久保 雄紀 介護職員	都道府県	神奈川県
共同発表者	久保寺 良次	住所	横浜市保土ヶ谷区常盤台 74-7
共同発表者		TEL	045-348-8001
共同発表者		FAX	045-348-8002
共同発表者		メールアドレス	info-tokiwadai@ikumeikai.net
共同発表者		URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	平成 23 年 4 月開設、令和 3 年 4 月に増設し新棟併せ本入居 160 床ショートステイ 20 床のユニット型特養です。開設当初より「リスペクトケア」を合言葉に、最期まで「その人がその人らしく」過ごして頂ける様、寄り添ったケアに取り組んでいます。
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

開設以来毎月欠かさず発行している“常盤台便り”についての記事作りから、10年記念誌まで、幅広い広報活動を行っています。

取り組んだ課題

- ① 毎月欠かさず発行している常盤台便りの中にある特集記事の Only One をまとめた。委員会で行事の事だけでなく命の尊さを意識した記事作りとしてアゲハの成長記録などを取り上げるなど委員からのアイデアを活かしスーパーバイザーに意見をもらいながら今までは違う切り口で記事を作成。
- ② スーパーバイザーの発案により開設 10 周年を記念した「10年史」の作成に着手。施設の「想い」を具現化するためのサポートを行った。

具体的な取り組み

- ① イベントの際には委員がカメラマンとして同行し撮影を行った。
毎週第 3 木曜日に行う委員会で常盤台便りに出す記事の写真の選定を行い割り付けをしスーパーバイザーの指摘により改良を重ねた物を常盤台便りとして発行する。
スーパーバイザーより写真にストーリーがある事を意識し撮影の際には一瞬一瞬の大切な瞬間を意識することが大切と教わり撮影の際には意識して撮影を行った。記事作りを行うにあたり難行していたところボランティアさんから施設に寄贈されたさんしょの木に卵がついており幼虫になり調べたところアゲハ蝶だった為職員による成長記録をつけていたでその事を記事に取り上げた。
委員会では記事や写真の反省会をし翌月の記事をよくするような話し合いをした。
- ② 10年史作成は Only One の収集と過去の記事から抽出し過去の編集者へ依頼をし編集者から紙面に収まるように 2 ページに写真や言葉選びの打ち合わせを行った。常盤台便りに半年にかけ謎かけのような予告を行う。

活動の成果と評価

10年史についてはトップページに 10 年の思い出の Only One の写真を載せる事となった。また事業報告と総括を載せた事により 10 年史をご家族様やご利用者や関係者や職員に配り愛読された方達に伝えることが出来た。
施設見学に来ていただいたから記事を見た方の話しでは自由に広報されており他の施設では見た事ないとの声を頂きました。

今後の課題

以前から課題の写真の技術の向上を目指し一瞬一瞬を大切に写真や飽きられない記事作りをし開設後より常盤台便りは第 133 号の発行になります。これからも楽しみにされている方の為に飽きられない記事作りをし発信していきたいと思ひます。